



令和7年3月25日

「総合診療教育研究センター」の設置について

伊勢志摩地域の総合診療医を志す若手医師確保に繋げるため、専門研修施設として医学生や総合診療専門医の育成と教育および研究環境の充実を図ることを目的に、新たに市立伊勢総合病院内へ同センターを設置します。

■設置日：令和7年4月1日（火）

■総合診療医の役割と現状

普段の予防から診断・治療まで、よくある健康問題のすべてに対応する総合診療医



日本特有の問題
世界一の超高齢社会

日本の65歳以上人口の割合
2020年 29%→2040年 35%

総合診療医の守備範囲

- ・ 健康診断、予防医療
- ・ 慢性疾患の外来管理
- ・ 急性内科疾患の入院
- ・ 救急診療
- ・ 身体症状を呈する精神疾患
- ・ 人材教育、組織運営

高齢者に特有の問題

- ・ 多疾患併存
- ・ ポリファーマシー
- ・ 人生の終末期のケア
- ・ 身体機能の低下
- ・ 認知機能の低下
- ・ 社会的孤立

総合診療医と内科系医師数の推移 (2019-2025)



2019年から医学生・研修医への総合診療の教育を開始→医学生・初期研修医の申込者数増加
→**総合診療専攻医(常勤)数が年々増加**。
総合診療教育が医師確保に有効であった。
総合診療教育研究センター設立により教育環境が整備されれば、安定した医師確保が期待される。

様々な病気を幅広く対応することができ、救急、入院、在宅など多様な場で活躍でき、心理、社会的な問題にも対応できる、広い守備範囲を持った総合診療医のニーズが高まっている。